



## 3学期の頑張りが、進路実現には大切です!!

### 3 学期は、学年の締め括り

#### ○ 3年生

学年末考査を終え、これから自宅学習期間に入ります。4月から親元を離れての生活になる生徒がほとんどです。生活のリズムが崩れないよう落ち着いた生活をして、自立に向けた準備を始めてください。これからの進路を見据え、この期間にしかできないことに取り組んでください。

#### ○ 1・2年生

2月に学年末考査があります。定期考査の点数が学年の成績を決定づけます。取りこぼしがないようにしっかりとした準備をしてください。成績が出たならば、必ず自分で評定平均を算出し、今後の努力の目安としてください。推薦の条件として、評定平均が重要です。また、自分の内面を見つめ直して、4月からどれだけ自分が成長してきたかを確認し、自分の個性や特長を探し出してください。

### 共通テストについて

1月16日(土)・17日(日)の両日、今年度から始まった「大学入学共通テスト」が実施されました。全国の志願者数は53万4千人となり、本校からは12名の生徒が会津大学で受験しました。結果は下記の通りです。

教科	国語	外国語		数学①	数学②	地理歴史	公民
科目	国語	英リーディング <sup>g</sup>	英リスニング <sup>g</sup>	数学ⅠA	数学ⅡB	日史B	現社
全国平均点	117.5	58.8	56.2	57.7	59.9	64.3	52.0
本校平均点	<b>82.0</b>	<b>42.6</b>	<b>44.0</b>	<b>35.7</b>	<b>36.8</b>	<b>57.0</b>	—
教科	理科①※各科目とも50点満点			理科②		※全国平均点は中間発表。 小数点第2位を四捨五入 ※本校平均点は自己採点 ※受験者が2名未満の教科については平均点を記載していない。	
科目	物理基礎	化学基礎	生物基礎	化学	生物		
全国平均点	37.6	24.7	29.2	51.1	72.7		
本校平均点	<b>24.5</b>	<b>15.5</b>	<b>24.5</b>	<b>20.5</b>	<b>47.0</b>		

本校では、推薦等で合格した生徒も共通テストを受験することを勧めています。その理由としては、共通テストを申し込む段階で、推薦等の合否がはっきりしていないこともあります。まずは自分の学力を知ってもらいたいということです。1科目でも高い点数が取れば、しっかりとした受験勉強を続けてきたことの証になりますし、今後の自信にもつながります。また、新しい進学先では、一般受験した生徒と一緒に講義を受けることになります。講義についていけなくなるよう高校で学ぶべきことを学んでもらいたいためです。

推薦等での合格者においても自分の得意科目だけは、しっかりと得点したいという目標を持って共通テストに臨みその努力が結果として表れた生徒もいます。今回の受験者では、国語1人、リーディング2人、リスニング1人、数学ⅡB1人、日本史B2人が全国平均を上回っています。

また、これから一般受験を控えた生徒は、最後まであきらめないで頑張ってもらいたい。今は大変だと思いますが、努力が良い結果をもたらすことと思います。

## 先輩に学べ！ 合格体験記

今年度も様々な学校へチャレンジをし、見事合格を勝ち取った生徒がいます。今回は短期大学と四年制大学の合格者です。1・2年生にとっては自身の進路実現に向け大きなヒントとなることも多いと思います。ぜひ参考にしてください！

### 質問事項

- ① 1日の勉強時間（平日・休日）
- ② 授業・定期考査の取り組み
- ③ 作文・小論文対策
- ④ 面接対策
- ⑤ 進路達成に向けて、特に心掛けたこと。
- ⑥ 受験のために我慢したこと。
- ⑦ 1・2年生のうちにやっておけばよかったこと。
- ⑧ 1・2年生のうちにやっておいてよかったこと。
- ⑨ 後輩へのメッセージ

### 〈 四年制大学 〉

#### ○ 阿久津 叶玖 会津大学 コンピュータ理工学部（公募推薦）合格

- ① 平日 2～3時間 休日 5～6時間
- ② 早めに授業で進んだ部分の復習をおこなう。
- ③ 新聞記事の気になった部分を切り取り、ノートにまとめる。
- ④ 面接はありません。
- ⑤ 休み時間や朝早く学校に来て勉強するなど、空き時間を有効に活用した。
- ⑥ YouTube
- ⑦ 模試が終わった後、自己採点をして、自分が間違った部分をしっかりと復習し、教科の参考書を活用して学習すればよかった。
- ⑧ 定期考査で80点以上取っておいたことが推薦に役立った。
- ⑨ 第一志望を目指して頑張ってください。

#### ○ 阿久津 瑠菜 福島県立医科大学 保健科学部 作業療法学科（公募推薦）合格

- ① 平日 3時間 休日 7～9時間
- ② 授業では、先生が口頭で言ったことや黒板の端に書いた要点などをノートにメモしていた。テストでは、青ペンで語句をノートに書きながら声に出して覚えた。選択肢も定規等で隠して問題を解いた。何度も間違えた問題は付箋を貼り、直前に確認した。
- ③ 小論文対策は、総合問題のため、先生に添削をしてもらったり、分からないところを質問した。国語は医療系の新聞記事や本を読んだ。英語は単語を中心に覚えた。小さいノートに調べた語句を書いて、時間が空いた時に見て覚えた。
- ④ 面接ノートを先生に何度も添削してもらった。志望理由書で深く聞かれそうなところを友人や先生に聞いて返答を考えた。先生に面接指導をしてもらう他にも友人に面接官をしてもらったり、入室や退出の確認をお互いに行っていた。
- ⑤ 分からないことはそのままにせず、2日以内に解決した。休憩と学習にメリハリをつける!!
- ⑥ マンガを読むこと。
- ⑦ 苦手をなくすこと。一般常識。語彙力を増やすこと。
- ⑧ 生徒会活動。毎日少しでも机に向かうこと。
- ⑨ 色々なことに挑戦すると、面接で話すネタになるとと思います。あきらめずに頑張ってください!!

## ○ 大桃 歩 福島大学 理工学群 共生システム理工学類（公募推薦）合格

- ① 平日 4時間 休日 6時間
- ② 授業は積極的に発言することで、自分の考えを常に言えるようにした。考査勉強は、教科書の分からない問題を別ノートにピックアップし、覚えられまで解き直すことにした。
- ③ 2学期に入ってから1日1題を書くことにし、書き方を覚えこんだ。必ず時間を計り、時間内で量と質の双方を高める努力した。
- ④ 先生方と練習し、どんな質問が来ても答えられるようにした。特に受験当日では、いかに素の自分を出せるかがカギとなった。また、口頭試問もあったので、教科書の内容を順次覚えていった。
- ⑤ 興味あることを見つけ、分野に関する知識を身につけること。その上で自分の考えを持つことを大事にした。また、志望校の情報をインターネットで調べたり、先輩方から聞くなどして、自分の試験に活かすようにした。
- ⑥ 1日の自由時間
- ⑦ 自分が将来どの分野に進みたいかを早目に決めておくこと。
- ⑧ 英検準2級を早い段階で取得していたこと。ボランティアへの積極的参加。1年次からオープンキャンパスに参加し、志望校の雰囲気をつかんでおいたこと。
- ⑨ 受験に限った話ではないですが、何事にも早目に行動することが重要だと感じます。なぜなら早く準備ができれば、後に余裕が生まれ、結果として対策に多くの時間を割くことができるからです。また、試験当日は周りの人たちがすごくできそうな感じに見えますが、周りも同じように感じているので、焦らずに自分の実力をだすことが大切です。

## ○ 目黒 しずり 産業能率大学 経営学部 マーケティング学科（アクティブラーニング方式）合格

- ① 平日 3時間 休日 6時間
- ② 授業は、受験前でもきちんと受け、自宅で受験のための書類作成や対策をするようにしました。定期考査では目標点数を決め、その点数に達するように努力しました。
- ③ レポート提出が必須だったため、志望校のオープンキャンパスにいき、対応していただいた学生にレポートの内容や書き方、注意すべきポイントを詳しく聞きました。それを基にレポートを作成しました。レポートは先生・親・友人に何回も見てもらいました。
- ④ 面接ノートには、志望理由以外には、質問に対する答えをあまり書きませんでした。その理由として、ノートに書きこんだことをそのまま覚えて話して、言葉に詰まったり、棒読みの状態になる恐れがあったためです。ノートに詳しく書けなかったぶん、面接の練習は何回も行いました。
- ⑤ 自分の進路希望先の簡単な専門知識を覚えることです。マーケティングに興味があったので、関連する語句を調べていきました。興味のある分野を理解していく中で、将来についての希望や進路目標が明確になりました。このことは、志望理由書作成や面接の対策に役立ちました。
- ⑥ ゲームやマンガ、出かけることを我慢しました。ゲームやマンガは、親に預かってもらいました。
- ⑦ 進路希望の決定です。3年制になってから進路希望先を決めました。そのため、志望校対策が不十分のため、書類作成が出願ギリギリまでかかってしまいました。
- ⑧ 定期考査を頑張ったことです。1・2年生のうちに、点数を取っておくと、3年生になって受験勉強で忙しくなっても心に余裕を持つことができます。
- ⑨ 志望校の受験を2回行っていきます。諦めずに頑張ったことが、合格につながりました。合格することは簡単ではありません。合格までは辛いこともあると思いますが、諦めたら後悔すると思うので、自分の力を信じて進んでください!!



○ **五十嵐 皇史** 東洋大学 文学部 第2部 東洋思想文化学科（自己推薦方式）合格

- ① 平日 4時間 休日 2時間
- ② 黒板の板書だけでは足りないと思った部分については、先生の口頭での説明や教科書の書かれていることをノートに書きこんだ。
- ③ 過去問を受験に近い形で解いた。また、問題文をよく読み、それに合った内容を書くように心がけた。
- ④ 今まで学んできた知識を活かして、自分が志望する学科に対する興味や意識を表現するように努めた。
- ⑤ 継続的に自主学習をするようにした。また、志望校についての情報をまとめるファイルをつくり、志望校に対する知識を深めた。
- ⑥ 放課後の時間、受験勉強に費やしたため、結果的に読書をする時間が減ってしまった。
- ⑦ もっと早くから英語の勉強を始めるべきだった。
- ⑧ 2年生の中頃から自主学習を続けていたので基礎学力が身についた。また、自主学習ができたことで、受験勉強がそこまで苦にならなかった。
- ⑨ 志望校については親とよく話し合うこと。また、推薦に落ちた場合に備えて勉強すること。

< 短期大学 >

○ **湯田 麻衣子** 会津大学短期大学部 幼児教育学科（公募推薦）合格

- ① 平日 3時間 休日 6時間
- ② 授業は先生が口頭で説明したところもメモした。定期考査は、赤シートを使い、何度も繰り返して覚えた。
- ③ なし
- ④ 相手の目を見て話すことを心掛けた。話し言葉にならないように注意した。
- ⑤ パンフレットやホームページを見て、学校のアドミッション・ポリシーなどを理解するようにした。
- ⑥ スマートフォン
- ⑦ 進路に関する本を読んでおいたり、基本的な知識を身につけておけばよかった。
- ⑧ 英語検定を受けた事。夏の集中学習会に参加しておいてよかった。
- ⑨ 分からない事や不安なことがあったら先生に相談することが大切だと思います。必ず力になってくれると思うので頼ってみてください。頑張ってください。

○ **星 朱里** 実践女子大学短期大学部 英語コミュニケーション学科（指定校推薦）合格

- ① 平日 学校で2時間、自宅で1時間 休日 5～6時間
- ② 分からないところは、そのままにしないで友達や先生に必ず聞いていた。 ③ なし
- ④ 自分なりに質問内容を予想し、自分の考えや意見を文章にし、先生方のアドバイスを参考に推敲していきました。また、自分の意見を明確に伝えられるようニュースをみて、知識を増やしました。面接を完璧にするには、先生や友達と受験を想定した練習をたくさんすることだと思いました。
- ⑤ 英語関係の学科を目指していたので、英語検定を積極的に受験したり、英語に触れる時間を人一倍多くするように心掛けました。
- ⑥ 平日にスマートフォンを見る時間を減らすためにインスタグラムをアンインストールしたり、スクリーンタイムを設定しました。
- ⑦ 早い時期から余裕を持って、英単語をたくさん覚えておけばよかった。
- ⑧ 英語検定に挑戦したこと。
- ⑨ 英語はどの分野にもつきもので、とても大事な教科です。今のうちからきちんと勉強しておくとう利だと思います。自分の目標に向かって頑張ってください!!